

第169回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和5年1月12日（木）16:00～16:12
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（11日）の新規陽性者数は、2,176人です。

これは前の週の同じ曜日を大きく下回っておりますが、この一週間では、前の週の同じ曜日を上回る日が多く、3千人を超える日もあるなど、厳しい状況が続いております。

次に、4ページ。

11日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、360人です。このうち、重症者が5人となっております。なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は499人です。宿泊療養施設入所者数は、368人となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、853.67人（11日現在）となっております。一昨日と比べて減少しているものの、1月6日から6日続けて800人を上回り、高い水準となっております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、47.0%（11日現在）となっており、引き続き、レベル2ではありますが、高い水準で推移しております。

次に、11ページ

「重症者用の病床使用率」が、10.9%、

発熱外来患者の状況を示す「一週間の医療機関報告新規陽性者数」が、11,879人となっております。

「保健医療の負荷の状況」、「社会経済活動の状況」、「感染の状況」を総合的に勘案すると「レベル2」と考えておりますが、医療の負荷が大きな状況が続いていることから、引き続き、負荷を減らす取り組みが必要であります。

【資料3】

次に、13ページ 資料3をお願いいたします。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行下における、診療・検査の流れについてであります。

本県でも、インフルエンザの流行シーズンに入り、今後、コロナとの同時流行が懸念される状況にあります。

発熱等の症状がある方のうち、65歳以上の方や妊婦、未就学児、重症化リスクのある方は、医療機関を受診いただき、コロナの検査に加えて、症状等に応じインフルエンザの検査を実施し、必要な医療につなげてまいります。

それ以外の方は、まずは検査キットによる新型コロナのセルフチェックを行っていただき、陽性の場合は、陽性者登録センターに登録ののち、自宅での療養をお願いいたします。陰性の場合は、高熱や関節痛が出現しているなど、インフルエンザの感染が強く疑われる方については、受診をお願いしたいと考えております。

医療のひっ迫を防ぐためにも、状況に応じ適切な受診行動を取っていただくよう、周知してまいります。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

14ページ、資料4をお願いいたします。

【資料4】

1月10日時点の接種実績については記載のとおりです。

このうちオミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、累計で、818,737回、全人口に対する接種率は44.5%で、全国における接種率37.2%を7.3ポイント上回っております。

次のページをお願いいたします。

県が実施する大規模接種についてであります。

オミクロン株対応ワクチンの接種を推進するため、記載の会場、日時において大規模接種を実施いたします。

使用するワクチンは、オミクロン株BA.4(よん)ー5(ご)対応型ワクチンになります。

対象者は、12歳以上の初回接種(1回目・2回目)を完了した方で、前回接種から3か月以上経過した方になります。

明日から予約を開始しますので、県内在住で接種券をお持ちの方は、是非御利用くださ

い。

ご自身や大切な方を感染から守り、医療機関の負担を軽減するため、接種の時期が来ている方につきましては、オミクロン株対応ワクチンや小児用ワクチン等の速やかな接種をお願いいたします。

(金光教授)

県内では少しインフルエンザの患者さんが増えております。直近で定点当たり2.5でしようか。

やはり、これも注意しなければならないということで、また、福島県内でもインフルエンザと新型コロナウイルスの合併例、こういった方もいらっしゃいます。

ただ、基本的に感染対策は同じでありますから、今まで皆さんがやってきたことを決して緩めないということが大事だろうと思っております。

もう一つは、お亡くなりになる人の数が少し増えているのではないかっていうことで、御心配の向きもあろうかと思えます。

この要因は幾つかあると思いますが、その中の大きな要因の一つが、やはり感染者数が多いということが、一つのキーだろうと思っております。

この意味から、ぜひ感染をしない、感染をさせないという対策を、もう愚直なまでにやり抜くということに大きな意味があると考えております。

(知事)

全国では、新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が多く、感染拡大が続いています。

県内でも、年が明け、特にこの一週間は、新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が続き、3千人を超える日もあるなど、感染が再拡大しています。

新規陽性者数が多い状況が続いていることで、外来診療の増加に加え、症状が悪化する方や入院を必要とする方、介護を必要とする方も多くなってきており、医療現場に大きな負担が掛かっています。

また、濃厚接触者や陽性者となる医療従事者が増加し、外来や病棟のスタッフが不足する状況が継続しているほか、多数の院内クラスターの発生により、外来、救急等の受け入れに制限が生じているなど、医療機関の対応力も低下しています。

さらには、救急車の受入困難事案が発生し、一般医療への影響も生じており、本県の医療提供体制は依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、現在発出している「福島県医療ひっ迫警報」の期間を2月5日

まで延長することといたします。

医療体制のひっ迫を防ぐためには、新たな感染者を減らしていくことが極めて重要です。

県民の皆様においては、「医療機関の負荷を減らす」ための取組、「感染者を減らす」ための取組について、引き続き、御協力をお願いします。

県内では、新型コロナウイルスの再拡大に加え、インフルエンザの流行も始まっています。お一人お一人が感染対策を徹底し、感染リスクを下げてくださいようお願いします。

まず、新型コロナウイルス感染対策としては、正しいマスクの着用や十分な換気など、基本的な感染対策を今まで以上に徹底していただくとともに、体調が悪い時は外出しない、移動先の感染状況等を確認するなど、普段会わない人と会う場合は、十分に注意してください。

また、飲食時は感染のリスクが高まります。「短時間」で、「大声での会話を控える」などの感染対策の徹底をお願いします。

さらに、新型コロナワクチンの早期接種をお願いします。

次に、インフルエンザの予防についてです。

インフルエンザワクチンは重症化防止の効果が期待されますので、予防接種の検討をお願いします。

インフルエンザは身体の抵抗力が落ちると発症しやすくなります。日頃から、十分な睡眠、バランスの良い食事を心がけ、体調管理に努めましょう。

さらに、空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。加湿器などを使用して、適切な湿度を保つことも効果的です。

インフルエンザは、発熱から5日間、かつ解熱から2日間は周囲への感染リスクがありますので、感染拡大を防ぐためにも十分注意してください。

新型コロナウイルスとインフルエンザの感染を防ぐための対策は同じです。引き続き、基本的な感染対策を徹底していただようお願いします。

県内では、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、医療機関への負荷が大きい状況が続いていることに加え、インフルエンザとの同時流行も懸念されることから、「福島県医療ひっ迫警報」の期間を延長しました。

こうした状況の中、県民の皆様の命と健康を守るため、感染症対策や医療現場で献身的に御尽力をいただいている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

感染の拡大を防ぎ、医療を守ることは、御自身や大切な方の命と健康を守ることに繋がります。感染対策の徹底や医療機関等の適正利用により、日々の新規陽性者を減らし、

医療提供体制の負荷を減らすため、引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。